

議員力・議会力を高める府議会の ICT化に関する調査研究結果の骨子

—議会改革検討小委員会・同作業部会報告—（令和2年3月）

1 検討の経過

(1) 議長からの議会改革の取組に関する諮問

令和元年7月3日、議長から議会運営委員会に対し、議会改革の課題として、「議員力」や「議会力」を高める取組を検討するよう諮問が行われた。

(2) 議会改革検討小委員会・同作業部会における調査研究

議長からの諮問を受け、「議会力」に係る諮問に関し検討を行うため、議会運営委員会に議会改革検討小委員会を設置。その検討の中で、「委員会における情報端末の活用試行の検証その他府議会のICT化」の調査研究を5名の委員による作業部会で行い、小委員会での協議を経て、その結果を取りまとめた。

◆ 議会改革検討小委員会作業部会の概要

- 1) 部会長 能勢 昌博（自民）
同委員 自民) 家元 優、共産) 浜田 良之
府民) 堤 淳太、公明) 小鍛冶 義広
- 2) 開催状況 計9回（令和元年7月4日～令和2年2月20日）
- 3) 管外調査（先進地調査） 令和元年11月19日～20日（沖縄県議会ほか）

2 調査研究結果（提言）（詳細は、報告書本体に記載のとおり）

(1) 府議会のICT化にかかる「基本的方向性」について

- 府議会としては、クラウド活用型のペーパーレス会議システムの導入その他のICT環境の整備などにより、ICTのメリットを「議員力」や「議会力」の発揮に生かす府議会づくりを進めていくことを「基本的方向性」とし、来年度からは、(2)及び(3)に示す案のとおり、導入に関する具体的検討に着手して、これらを段階的かつ着実に進めることとしてはどうか。

ICTのメリット

- ① いつでも、どこでも、必要な資料（情報）にアクセスできる。
- ② 膨大な資料（情報）の中からも、必要な情報を容易に検索できる。
- ③ 資料（情報）のデジタル化により、資料の持ち運びや整理・保管に係る手間・スペースが不要となったり、軽減等が図られる。
- ④ 多数の者の間（議員同士や議員・執行部間など）で、容易かつ即時に、情報の共有ができる。
- ⑤ 運用次第で、印刷等の経費や事務負担・環境負荷の軽減に資する。

(2) 具体的検討項目案について（別紙1）

ア 平成29年度から令和元年度までの3箇年の作業部会による調査研究の結果として、導入に向けた検討が必要と思われる項目案を整理した。

イ この具体的検討項目案については、来年度、執行部とも連携・調整の上、次に掲げる視点から、個別・具体的に課題を抽出・検討し、その検討結果を府議会のICT化実施計画（仮称）として取りまとめることとしてはどうか。

検討の視点	避けるべき状況（デメリットの解消）
A 導入・構築しようとするシステム・ICT環境は、運用面も含め、実際に「議員力」や「議会力」を高めることができるものとなっているか。	<ul style="list-style-type: none">導入したが、使えないシステム・使わない機能ばかり委員会等の運営のことを考えずに、仕様を決定
B 議員それぞれがICTのメリットを生かすことができ、また、導入によるデメリットが生じないように、配慮・工夫がされているか。	<ul style="list-style-type: none">操作に慣れた議員のみがICTのメリットを生かし、操作に不得手な議員が取り残されたような運用試行による検証、研修等を行わない、場当たりの導入
C ICT化を、更なる開かれた府議会につなげるという府民視点があるか。	<ul style="list-style-type: none">聴覚バリアフリーへの対応など、ICTのメリットを府民に生かす視点での検討を行っていない
D ICT化のメリットと効果（費用対効果・業務量の削減効果）のバランスが取れているか。	<ul style="list-style-type: none">ICTのメリットを勘案しても、費用が過大である導入紙の完全併用など、職員（執行部・議会事務局）の業務負担を増大させる運用を前提にした導入

(3) 導入の具体的時期（目安）と検討実施体制について（別紙2）

ア 導入の具体的時期は、5Gの普及状況等も考慮して、来年度にICT化実施計画（仮称）の中で定める必要があるが、検討を着実に進める趣旨から、調査研究結果として目安を示す。

- 令和2年度・委員会での情報端末試行の深化（9月又は12月定例会中の常任委員会でのペーパーレス方式による運営試行等）
ICT化実施計画（仮称）の策定（作業部会での検討）
- 令和3～4年度・前年度の検討結果（計画）に従い、順次導入（試行）
- 令和5年度（改選後）・完全実施（本会議を含む。）

イ 令和2年度は、(2)の具体的検討項目案の検討を行うため、「3箇年にわたる調査研究型の作業部会」から「ICT化実施計画（仮称）策定のための実施検討型の作業部会」に移行してはどうか。

府議会のICT化・ペーパーレス会議システム導入に向けた具体的検討項目(案)

区 分		検 討 項 目(案)	備 考	
I. ICT環境の整備	(1)情報端末機器	① 調達方法 ・ 議会で調達して貸与、又は議員保有端末を使用 ・ 購入方式、又はリース方式 ② 調達台数 ・ 議員、職員等への配付台数 ③ 機種、規格、周辺機器、サポート等		
	(2)ペーパーレス会議システム	① システム選定(アプリケーションの機能等の調査) ② ライセンス数・クラウド容量 ③ 執行部システムとの連携の必要性		
	(3)ネットワーク環境	① 議会LAN(Wi-Fi)導入の必要性 ② 5Gへの対応		
	(4)その他	① 府議会のICT化に必要な機器・システムの必要性等		
II. 議員力を高める情報端末機器の活用	(1)議員力強化	① クラウドで共有する電子情報の範囲(府・市町村の基本計画・白書、委員会報告に係る計画その他各種調査情報) ② 議会図書館の活用がしやすい環境づくり ③ 執行部の危機管理情報、議会日程・行催事情報など、情報伝達・共有の方法 ④ 現行の調査情報検索システムの継承		
	(2)適正使用のためのルールづくり	① 機器一般の使用ルール・目的 ② 議員保有端末の会議システムへの接続の必要性 ③ セキュリティポリシー(個人情報等)		
III. 議会力を高める会議運営のペーパーレス化 9月定例会又は12月定例会において、一部の常任委員会でペーパーレス会議の運営を試行実施	委員会	(1)ペーパーレス会議の運営	① 情報端末機器の使用方法等のルール化、現行の試行ルールの見直し ② 記者、傍聴者への対応 ③ 機器の不調、システム・ネットワーク障害時の対応 ④ 申合せ等の見直しの必要性	試行する委員会の検討
		(2)会議資料のデジタル化	① デジタル化対象文書の範囲 ② 電子納品の方法(ファイルアップロードの実施主体の検討を含む)、期限、差替え方法等 ③ 電子ファイル(PDF)の仕様 ・ 電子目次の設定、テキスト/画像形式の設定 等	
		(3)議員サポート	① 議員研修、相談対応 ② 会議中のサポート方法	
	本会議	(1) ~ (3) 委員会と同じ【委員会についての検討を優先】 (4)その他	① 会議録、速記のあり方	
IV. ICTを活用した、開かれた府議会の更なる進展	(1)広報・広聴のICT化	① 聴覚バリアフリーへの対応の必要性 ・ 音声をリアルタイムに文字にし、配信するサービス ② HP、SNS等の更なる活用 ・ 議案のHPでの公開の必要性 等 ③ モニター、スクリーン等の活用・必要性 ④ その他	広報広聴会議と連携	
V. I~IVの検討を踏まえた費用対効果等の評価・スケジュール	(1)I~IVに対する費用対効果、業務量の削減効果等についての評価			
	(2)運用・調達・予算	① 運用スケジュール ・ 委員会での試行期間、本格実施時期 ・ 本会議への拡大時期(試行、本格実施) ② 調達スケジュール ・ ①の運用に合わせた業者選定等(情報端末機器、通信、ペーパーレス会議システム、ネットワーク環境) ③ 予算スケジュール ・ ②の調達に合わせた予算要求作業		

【令和3年2月定例会】 ICT化実施計画(仮称)を策定

ペーパーレス会議システム導入スケジュール（イメージ）

